

6 生きるために考えよう

ひなんするときにつけることを勉強しましょう！

けいかいレベル4で、みんなひなん

下の表は、災害のきけんレベルと、そのときにどんな行動をとればいいのかをあらわしています。災害がおきそうなときには、けいかいレベルによってそれぞれのけいほうが出ます。

けいかいレベル	どんな行動をとればいいのか？	けいほうなどのしゅりい
5 いびつ 命を守って！	あぶない状況です。すぐに命を守る行動をしましょう。	大雨とくべつけいほう
4 みんなひなん しましょう	あぶない場所にいる人は、全員ひなんしましょう。	土しゃ災害けいかいじょうほう
3 お年よりなどがひなんします	あぶない場所にいるお年よりや小さな子ども、体が不自由な人などは、ひなんしましょう。	大雨けいほう
2	おうちの人といっしょにひなん所へのいきかたやあぶない場所を確認しましょう。	大雨注意ほう
1	ひなんグッズをじゅんびしたり、おうちの人と食べものや水を置いいたりしましょう。	

あぶない場所は、市町村が作っているハザードマップでわかるぞ。

22

ひなんするときにつけること



風水害がおきてひなんするとき、このようにことに気をつけるんじや。

●まだ雨がよわいうちにひなんしましょう。



●うごきやすい服をきて、ひなんしましょう。

もちもの

ひつような物だけをリュックなどに入れて持っていきましょう。いざというときにきけんを知らせるため、ホイッスルなどを持っておきましょう。

くつ

はきなれたくつをはきましょう。履くつは、水が入ると動きにくくなるのでさけましょう。

ぼうしやヘルメット

頭を守るためにぼうしやヘルメットなどをかぶりましょう。

できるだけ両手に物を持たないようにしてひなんしましょう。



●水がひざの高さより上にあるときはきけません。安全な場所できゅうじょうを待ちましょう。



●なるべく大人の人といっしょにひなんしましょう。



●車や自転車を使わずにひなんしよう。

A



●夜にひなんするのはきけません。たてもの中の高い場所での身の安全を守りましょう。



23

ひなん所に行ったときにつけること



令和3年8月佐賀市 (画像提供: 佐賀新聞)



ひなん所に行ったときは、おたがいにゆずりあい、助け合って生活するんじや。新型コロナウイルスなどの感染症がはやっているときは、かかたり、うつしたりしないように気をつけるのじや。



24

もしものときに持っていくもの

あなたのおうちでは、もしものときにどんなものをひなん所に持っていきますか？ おうちの人に聞いて、じゅんびするものに○をつけよう。



きちんと災害にそなえているかな？ おうちの人と話し合ってみよう。

じゅんびするもの(例)	○をつけよう
①マスク	
②かい中電とうやヘッドライト	
③きゅうきゅうセット	
④けいたいらジコ	
⑤ティッシュペーパー	
⑥ヘルメット	
⑦体温計	
⑧ぐん手	
⑨じょさんウエットティッシュ	
⑩歯ブラシ	
⑪タオル	
⑫ビニールぶくろ	
⑬けいたいトイレ	
⑭そのまま食べられる物(かんづめ、カンパンなど)	
⑮飲りょう水	
⑯雨具、ぼうき傘	
⑰ホイッスル	

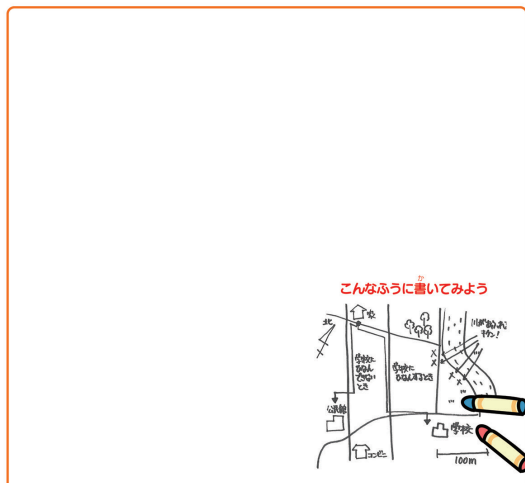
※両手が使えるようにリュックに入れて、じゅんびしよう。
※ひなんするときめれないように、ビニールぶくろに入れるなどの工夫をしましょう。
※このページはコピーをして使いましょう。

25

ひなん所までの地図を書いてみよう



- 学校からあなたの家までの帰り道をかいたり、地図をはったりしよう。
- ひなん所を地図に書いてみよう。
- おうちの人といっしょに歩いて、ひなん所までのいき方を書いてみよう。



こんなふうを書いてみよう

書いた後はおうちの人にたくにんしてもらおう。

地図を書いたり、歩いたりしてみて、気づいたことや思ったことを書いてみましょう。

ひなんするときのルールをきめよう

おうちの人と「いつ」「どこへ」「だれと」ひなんをするか話し合ってルールをきめましょう。近くにいらないときのれんらく方法や、まちなせ場所も話し合ひましょう。

● いつ？

なにが どうした
 が とき
 見本：「たいふう」が、「きた」とき / 「○○けいほう」が、「でた」とき

● どこへ？

- 家から一番近いひなん場所はどこですか？
- ①にいくのがあぶないときは、どこにいきますか？
- ②外に出るのがあぶないときは、家の中のどこが安全ですか？

● だれと？

- だれとひなんしますか？
- ①に書いた人がいないときは、どうしますか？

● おうちの人とのれんらく

- どうやってれんらくをとりますか？
○をつけましょう。
- れんらくがとれないとき、
どこでまちなせしますか？

電話 ライン その他

見本：○○小学校の入り口

ぼうさい 防災くん線にさんかしよう

日ごろからちいさな防災くん線にさんかして災害にそなえましょう。



ぼうさい 防災くん線で身の守り方などを教えてもらおう。



ふうすいがい 風水害について思ったこと

この本をよんで思ったことや考えたことを書きましょう。

めざせ！ ぼうさい 防災はかせ

この本で勉強したことのまとめクイズです。いくつわかるかな？



下の文章で、正しければ○、まちがっていたら×をつけましょう。

- | | | |
|-----|------------------------------------------------|--------------------------|
| Q1 | 風水害がおこる前に、ひなんグッズをじゅんぴししておく。 | <input type="checkbox"/> |
| Q2 | せきらん雲が近づいてきたときは、集中ごう雨がおきるかもしれないので、できるだけ外に出ない。 | <input type="checkbox"/> |
| Q3 | 集中ごう雨がおきているとき、長くつをはいていれば水がたぐさんたまっている場所を歩いてもよい。 | <input type="checkbox"/> |
| Q4 | かみなりがなってきたら、大きな木の下にげこむのがよい。 | <input type="checkbox"/> |
| Q5 | 台風がくる前に、家のまわりにある、とばされやすいものをかたづける。 | <input type="checkbox"/> |
| Q6 | 台風が来たが、雨や風が強かったので、わりにひなん所へ行かなかった。 | <input type="checkbox"/> |
| Q7 | 「おお雨けいほう」が出たので、お年よりにひなんしようを伝えた。 | <input type="checkbox"/> |
| Q8 | ひなんするとき、歩くより早いので自転車で行った。 | <input type="checkbox"/> |
| Q9 | ひなん所ではまわりが知らないばかりなので、あいさつなどしなくてよい。 | <input type="checkbox"/> |
| Q10 | 雨がやんだ後でも、土しゃ災害のきけんがあるためがけなどには近づかないほうがよい。 | <input type="checkbox"/> |

補足説明

④車や自転車を使わずに避難する理由

避難をする際はなるべく車や自転車を使用しない方がよいと言われています。その理由は、以下の通りです。

- 多くの避難者が車を使用した場合、渋滞や交通事故が発生する恐れが高いため。また、徒歩で避難する人たちを妨害する恐れがあるため。
- 車が水没した場合、避難ができなくなるため。
- 自転車での避難については、浸水時や強風時に転倒しやすくなるため。

⑤体調不良者などがいるスペースには入ってはいけない

避難所では、発熱や咳などの症状がある避難者と一般の避難者とはスペースが分けられ、接触しないようになっています。そのルールを守らず、体調不良の避難者がいるスペースに入ってしまうと、体調不良者に迷惑をかけるとともに、感染してしまう可能性があります。体調不良者などがいるスペースには入らないようにしましょう。

また避難所では児童一人で行動するのは避けるようにし、できるだけ大人や複数人数で行動するようにしましょう。

※スペースが分けられているのは、感染拡大を防止するための対策です。体調不良者やその家族をひぼう中傷することや差別することは絶対にやめましょう。

⑥避難所での感染防止対策

マスクの着用や、ソーシャルディスタンスをとること以外に、以下のような感染防止対策に努めましょう。

- 避難所に入る前に検温をしましょう。また、避難所生活が長引く際は、毎日検温して自分の体調をチェックしましょう。
- 咳や強いだるさを感じる場合は、隠さずに、家族や避難所のスタッフに伝えましょう。
- 家族と過ごすときも、なるべく向かい合わないようし、寝るときは頭を互い違いにするなど、咳やくしゃみなどによる飛沫(ひまつ)感染の防止に努めましょう。

⑦他に必要なものがないか確認しよう

イラストはあくまで一例です。人によってそれぞれ必要な物は異なります。状況に応じて必要なものがないか考えさせましょう。

持病やアレルギーのある児童たちは、普段飲んでいる薬を忘れないように指導しましょう。

⑧避難所に行くことだけが避難ではない

避難とは「難を避ける(なんをさける)」ということですが。

近年の災害では、避難所に行く途中で命を落とすという例も報告されています。

危険な状況での避難はできるだけ避け、安全の確保を第一に考えましょう。危険が切迫している場合は、指定された避難場所などへの移動だけでなく、近隣の安全な建物などへの避難や、屋内のより安全な場所への移動が必要な場合もあります。

⑨めざせ！防災はかせ

- ①○：風水害は来ることが事前に予想できます。避難グッズや食糧・飲料水を準備しておきましょう。
- ②○：集中豪雨が降りそうなときは、家から外に出ないことが最も簡単な対策です。
- ③×：長靴は中に水が入り、歩けなくなることがあるので、履き慣れた運動靴にしましょう。
- ④×：逆です。雷が鳴ったら大きな木や電信柱から遠ざかること、できるだけ早く頑丈な建物に逃げ込むことが大事です。
- ⑤○：家の周囲にある飛ばされやすいもの(植木鉢、自転車など)は、台風が来る前に片付けたり、固定した方がよいでしょう。
- ⑥○：避難所へ行くならば、雨が強くなる前に移動すべきです。風や雨が強くなってからでは、無理に避難所へ行かない方がよいでしょう。
- ⑦○：警戒レベル3では「危険な場所から高齢者等は避難」です。
- ⑧×：風水害が起きて避難するとき、雨や風など自転車を運転するうえで危険な要素が多くあります。大人が運転する車で避難することも、やめた方がよいでしょう。
- ⑨×：避難所にはいろいろな人がいます。あいさつをしてみんなで気持ちよく過ごしましょう。
- ⑩○：集中豪雨の後では、まだ地面の中に水がたまっており、土砂災害の危険があります。

◎災害用伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル171は、非常時のみに設置される番号ですが、体験利用日に体験することができます。授業内で実際に体験してみるのもよいでしょう。

【体験利用日】

- 毎月1日、15日
- 1月1日～3日
- 防災週間(8月30日9時～9月5日17時)
- 防災とボランティア週間(1月15日9時～1月21日17時)

【条件】

- 伝言録音時間:30秒
 - 伝言保存期間:体験利用期間
 - 伝言蓄積数:20伝言
- ※29ページ⑩のURLをご参照ください。

Ⓜ公衆電話の使い方

災害用伝言ダイヤル171は、公衆電話でも利用することができます。しかし、2017年にNTT東日本が行った調査では、公衆電話を使った経験のない小学生が約85%以上にのぼることが分かりました。NTT東日本のホームページで公衆電話の使い方をイラストや動画で分かりやすく説明しています。

※29ページ⑫のURLをご参照ください。

板書例

めあて

災害がおきてもあせらないように、今できるじゅんぴをしよう。

気づいたこと、思ったこと

- ・おじいちゃん、おばあちゃんが家にいるから、けいかいレベル3でひな人を始める。
- ★長ぐつでひなん所へ行かない！
→長ぐつの中に水が入ると、うんどうぐつより、歩きにくくなるから。
- ・子ども会であつまる公みんかんは、ひなん所になることもある。

※29ページ⑬のURL(農林水産省の家庭備蓄についての動画)、⑭のURL(福岡県防災ホームページ:避難所を探す)も授業にご活用ください。